

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立神津小学校 学校協議会

1 総括についての評価

『未来を切り拓く学力・体力の向上』では、昨年度に引き続き多くの学年教科において、大阪市平均を上回る結果となった。教科ごとでは、国語が 4・6 年生、社会が 4・5・6 年生、算数が 4・5・6 年生、理科が 4 年生、英語が 5・6 年生において同一集団の昨年度の結果を上回ることができた。

基礎体力向上では、「なわとび週間」「かけあし週間」「竹馬週間」など、学校全体として取り組み、子どもたちが楽しく意欲的にがんばる姿が増えてきた。本校オリジナルの「神津体操」は、体育の授業や準備運動に継続して取り入れることで、体幹が強くなり、けがの予防、集中力向上につながっている。

『学びを支える教育環境の充実』については、子ども一人ひとりの教育環境を充実させるため、『心の天気』の活用、『授業内での ICT 活用』を大きく進めることができた。『心の天気』活用においては、子どもに活用の声かけをし、その結果から寄り添った取り組みや支援を行うことができた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

全市共通目標（小学校）

○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.3%以上にする。

R6 87.1% R7 82.0% （同項目学校教育アンケート 89%）

○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81.2%以上にする。

R6 81.1% R7 79.6% （同項目学校教育アンケート 78%）

学校の年度目標

○ 毎日心の天気を活用する。さらにいいところ見つけも活用し、学級の様子を共有する。課題の早期発見と課題に応じた対策を行うことができるようにする。

○ 各学年が朝の会や終わりの会、学級活動等の取り組みの中で、自己肯定感を高める活動を行い、学期ごとに学校全体で交流する。

○ 児童が主体的に楽しく取り組める活動を各学年 2 回、学校全体として 10 回以上行う。

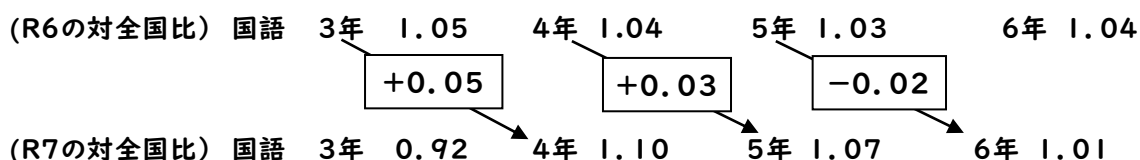
・行事などで子どもたちの様子を見ていても笑顔が多くて安心している。アンケートの数値は、実施時の精神状態で左右されるので、数値では現れていないが、良い状況だと思う。

・引き続き、自己肯定感を高める取り組みをお願いしたい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

全市共通目標（小学校）

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも0.01ポイント以上向上させる。



- 年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度より1%以上向上させる。R6 **73%**

(R7校内調査 児童学校アンケート) **79%** 大変思う42% 思う 37%

学校の年度目標

- 学校アンケート「友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしています。」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする児童の割合を45%以上にする。前年度 **43%** → 今年度 **42%**
- 月1回「漢字の日」を設定して前学年の漢字を復習したり、漢字検定を活用したりして、反復練習を行う。
- 研究授業や公開授業を20回以上実施する。
- 学期に1回以上、さまざまな研修会を実施する。
- 児童が自分の生活を見つめ、規則正しい生活を身に付けることができるよう、継続的に声掛けをし、年2回、生活チェック習慣の場を設ける。

- ・ 3学年が大阪市平均を上回っていて、子どもたちの学力をつけてくださっていることがわかる。
- ・ 漢字検定でも、それぞれの目標に向かってチャレンジしていることが感じられた。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

全市共通目標（小学校）

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)
※R6 約60%⇒R7 93.3%
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を前年度より1ポイント以上にする。
※R6 71%⇒R7 81%
- 児童1人あたりの年間貸し出し冊数を前年度より上回る。
※R6 53冊⇒R7 全学年平均 50.3冊

学校の年度目標

- 児童の実態に応じて、さまざまな教科で週2回以上（年間80回以上）学習者用端末

を活用した学習を行う。

- ゆとりの日を週1回設け、勤務時間を意識する。
- 学校教育アンケートの「本を読むのが好きです」の項目で肯定的な回答の割合を昨年度より1ポイント以上向上させる。 R6 74%⇒R7 69%

- ・教職員の皆さんで学校全体の良い雰囲気をつくってくださって感謝します。
- ・さらなる働き方改革を推進してほしい。先生方にゆとりが、子どもたちの心のゆとりにつながると思う。
- ・引き続き子どもたちの読書への関心を高める取り組みを進めてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学習者用端末の活用によって、学習への関心を高める効果を感じているが、今後も子どもたちが使うことを目的にするのではなく、学ぶためのツールとできる力を育ててほしい。今後も機器を上手に活用していけるように情報モラルも育ててほしい。
- ・子どもたちの成長のために多面的に見て、学習や生活の計画立て、実行していただいていることに感謝します。
- ・アンケート結果や経年調査等の結果で、目標に対して多少の上下がみられるが、良い状態を維持していただいている。今後も引き続き先生方の熱心な教育をお願いします。